

# 第1回 稲作レポート 田植え in 松島

2012  
May



今年は稲作に挑戦!



この度、ハミングバード・インターナショナルでは、1年を通して松島町の農家さんのご協力を得ながら、自社ブランドの米作りに取り組みます。田植えから収穫までのプロセスをハミングバードグループ全体で体感することで、「食のこだわり」をより強く感じ、会社全体の食の意識向上を図っていきます。

今回は、ハミングバード、炙屋十兵衛、ラーメン☆ビリーのスタッフ総勢22名で「田植え」を体験してきました。品種は「つや姫」。甘みがあって艶があり、うま味成分により冷めても美味しいお米と言われています。午前10時頃に田んぼへ集合。松島町の篤農家、早川さんから田植えについての説明があり、早速田植機班と手植え班の二手に分かれて、作業がスタート。



稲の苗が並び、いよいよ田植え開始!みんな少し緊張気味。

## information

「つや姫」は(財)日本穀物検定協会の食味官能試験において、参考出品ながら、平成20年産米、平成21年産米ともに「粒が揃っている」「艶がある」「甘みがある」、「うま味がある」などのコメントと最高ランクの「特A」評価を得ているお米です。その美しさのヒミツは、うま味成分のグルタミン酸やアスパラギン酸が多く含まれているためと言われています。また、これらの多くのうま味成分により、冷めても美味しいお米です。

## 田植え部隊出動！



田植機を使っただけの作業は、手作業に比べるとあっという間のスピードと正確さで驚きました。スタッフのお子さん達も参加しましたが、田植機に乗った時には大喜びでした。この経験が普段何気なく食べているごはんに対しても、他の人と違う感じ方、思いに繋がっていくんですよ。

田植機で作業できない端のスペースは手植えをしなければならぬので、裸足で田んぼへ踏み込み、奮闘していました。頂いた苗は3つの束にしなが、均等に植えていきます。深さはどこまで植えたらいのか、間隔はどれ位なのか、などと作業してみないと分からないことが沢山あり、スタッフ同士で会話を交わしながら楽しんで体験できました。



セットした苗が自動で植えられていきます。これは速い！



仲間同士助け合いながら、いざ手植え開始！一つ一つ丁寧に植えていきます。



田んぼの主を発見！  
じっくりと田植えを見つめていた様子。

## 自然との触れあいで豊かな時間



天気も晴れで気持ちのいい気候。海鳥の声が聞こえる中、普段見る機会がないカエルやアメンボに遭遇し、すっかり自然の虜になりました。後半には足を滑らせて田んぼに落ちてしまう人もいましたが…無事田植えを終えることが出来ました。

午後からは場所を移動し、「さなぶり」が開催されました。「さなぶり」とは、「早苗振る舞い」が「さなぶり」になったといわれており、忙しい田植えが終わって一息つく時に行う行事の一つだそうです。泥だらけになって一つ一つの苗を植えた感触を思い出しながら、さっそくみんな乾杯。ご協力下さったみなさんとねぎらいの言葉を交わしながら、これからの稲穂の実りを祈願したのでした。



お世話になった早川さんの挨拶が終わり、「さなぶり」がスタート！